



全ては子どもたちのために

壁面に掲示してご利用ください

共に歩まん



令和4年3月9日発行

第32号

長野県中信教育事務所

←過去の「共に歩まん」はこちら

シリーズ『すぐに使えるICT』図画工作・美術～オンラインでもできる鑑賞の活動～

題材名：この絵のタイトルなんだろう？

育成を目指す資質・能力(小学校第3・4年)

【思考力, 判断力, 表現力等】

- ・作品の造形的なよさや面白さ, 表したいこと, いろいろな表し方などについて, 感じ取ったり考えたりし, 自分の見方や感じ方を広げること。
- ・形や色などの感じを基に, 自分のイメージをもつこと。

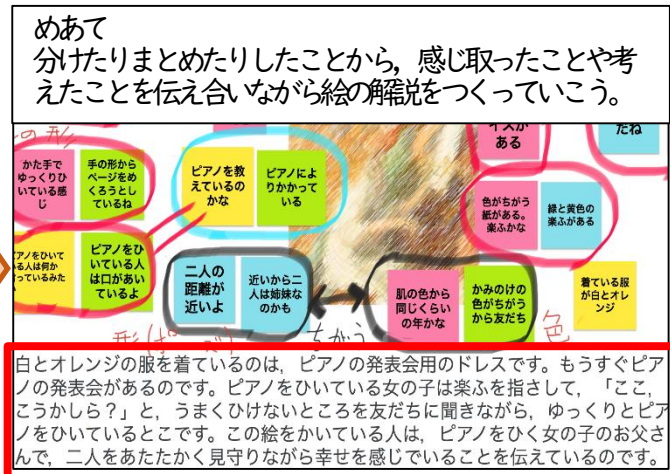
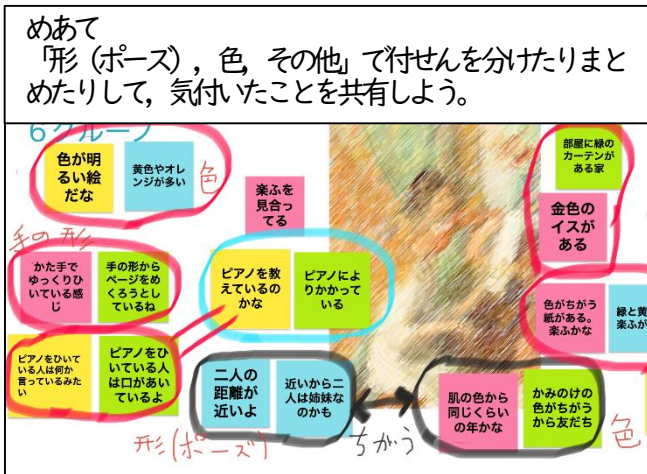
【知識】

- ・形や色などの感じが分かること。



資質・能力を育成するためのICT活用のポイント

- 1 作品から気付いたことを出し合う際に, クラウド上の付箋ツールを用いることで, 「形(ポーズも含む), 色, その他」のような造形的な視点で, 友と一緒に分類しながら整理しやすくなります。
- 2 分類しながら整理した上で, 感じ取ったことや考えたことを伝え合い, 物語をつくるかのように端末上で共同編集しながら作品の解説をつくっていくことができます。



端末上で共通点や相違点を丸で囲む, 線で結ぶ, 互いに書き込む(時には書き直す)等していくことで, 造形的な視点を基にした様々な見方や感じ方が視覚的に捉えられていきます。

解説文を共同でつくることで, 様々な意味をつなぎ合わせながら自分の見方や感じ方が広がっていくことが期待できます。これは同時に, 「造形的な見方・考え方」を働かせていく姿でもあります。

見方や感じ方を広げている姿が捉えられる「振り返り」

最初は姉妹だと思っていたけど, 友達の「かみのけの色がちがうから友達だと思う」という考えを知って, そういう見方もできるんだなと思いました。友達と話すと自分では気付かなかったことに気付いて, 端末上で友達と一緒に物語をつくっているみたいで楽しかったです。

端末を用いながら作品の解説を共につくることにより, 友との対話的な学びがより促され, 新たな気づきが自覚できたり, 自分の見方や感じ方を広げたり深めたりすることにもつながりそうだね。また, 記録としても積み重ねていくことができ, 鑑賞の評価をする時にも活用できるね。

